

7 章 消波工

7.1 消波工（捨石）

7.2 消波工（ブロック据付）

7章 消波工

7.1 消波工(捨石)

1. 適用

海岸工事における離岸堤、消波堤、突堤等の海上作業における捨石工に適用する。

2. 数量算出項目

捨石投入の体積、捨石均しの面積を算出する。

3. 区分

区分は、規格とする。

(1) 数量算出項目一覧表

項目	規格	単位	数量	備考
捨石投入	○	m ³		
捨石均し	○	m ²		

(2) 捨石投入の規格区分

捨石に使用する材料を砂利及び岩石に区分して算出する。

(3) 捨石均しの規格区分

捨石均しの規格の区分は以下のとおりとする。

- 捨石均し ——— 本均し (精度±5 cm)
- 荒均し (精度±30 cm)
- 荒均し (精度±50 cm)
- 被覆均し(精度±30 cm)
- 被覆均し(精度±50 cm)

7.2 消波工(ブロック製作・据付)

1. 適用

海岸工事における離岸堤、消波堤、突堤等の海上作業におけるブロック製作・据付工に適用する。

2. 数量算出項目

ブロックの個数を区分ごとに算出する。

3. 区分

区分は、作業区分、規格とする。

(1) 数量算出項目及び区分一覧表

項目 \ 区分	作業区分	規格	単位	数量	備考
ブロック	○	○	個		注) 1

注) 1. 型枠の種類(プラスチック・鋼製等)について、備考欄に明記する。

2. ブロックの積込場所から据付場所までの片道運搬距離(km)についても算出する。

(2) 作業区分

作業区分は、以下のとおりとする。

ブロック据付作業区分 ———— 陸上設置
 └── 水中設置

注) 陸上設置とは、ブロックを平均干潮面より上に設置する場合を言い、平均干潮面が設定されていないところでは、平均水面と塑望平均干潮面との1/2とする。

(3) ブロックの規格区分

ブロックの規格区分は、以下のとおりとする。

ブロック製作

ブロック1個当りの実質量とする。

ブロック据付

ブロック1個当りの実質量 ———— 4.5t以下
 ├── 4.5tを超え 7.5t以下
 ├── 7.5tを超え12.5t以下
 ├── 12.5tを超え22.0t以下
 ├── 22.0tを超え31.0t以下
 ├── 31.0tを超え37.5t以下
 └── 37.5tを超え50.0t以下

4. 数量算出方法

数量の算出は、「第1編（共通編）1章基本事項」によるほか下記の方法によるものとする。

- (1) ブロック1個当りコンクリート設計量（ m^3 /個）、型枠面積（ m^2 /個）及び必要に応じて鉄筋（連結用フックを含む）量（t /個）を径毎に算出する。